

平成28年度 第1回 東松島市復興まちづくり計画市民委員会 【開催概要】

平成28年7月4日（月）19時より、東松島市役所301会議室において、市民委員21名およびアドバイザー企業6社が出席し、平成28年度第1回東松島市復興まちづくり計画市民委員会が開催されました。

【内容】

1. 委嘱状交付
2. 市長挨拶
3. 東松島市復興まちづくり計画市民委員会設置要綱について
4. 委員長、副委員長選出
5. 意見交換 ～平成27年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について～
6. その他 今後の予定について



■市長挨拶

平成28年度は、東松島市にとって節目の年となる。市のすべての政策の基礎となる総合計画については、今年度から10年間の「東松島市第2次総合計画」がスタートした。また、平成23年に作成した「東松島市復興まちづくり計画」は、前期5年の「復旧・復興期」が終了し、今年度から後期5年の「発展期」に入っている。さらに、地方創生に関する計画として、市の人口等についての中長期の展望や、定住人口、雇用創出、子育て支援等の施策を示す「東松島市人口ビジョン・総合戦略」もスタートした。あわせて3つの重要な計画がスタートしたことになり、効率的、効果的な事業推進を図っていきたい。

本委員会は、市民委員及びアドバイザー企業の皆様にご参加いただき、復興まちづくり計画等の検証と改善に向けて、市民目線でのご意見をいただくために設置するものである。どうぞよろしくお願いいたします。

■意見交換 ～平成27年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について～

平成27年度に実施した「東松島市人口ビジョン・総合戦略」に基づく事業について、事務局から報告を行った上で、委員との意見交換を行いました。また、市の人口・産業・財政等の状況について、大村委員長より情報提供を行いました。

◇平成27年度東松島市人口ビジョン・総合戦略実施事業について（一部意見を要略）

- ・「東松島市人口ビジョン・総合戦略」には様々な施策が記載されている。市内の産業界・各種団体等との連携を図りながら進めてほしい。
- ・観光客の入り込み数は、震災前から右肩下がりである。まずは市民が市内の魅力を共有するところから取り組むことが必要。市外からの集客を増やすためには、紙媒体の観光マップ等だけではなく、インターネット上での情報発信も重要である。
- ・通常、電気を使用すれば（市外の）電力会社に料金を支払うが、地域新電力事業は地域内で電力やお金を循環させることができる。このような地域ビジネスの創出事業には、若い人材の育成が特に大切である。

※詳細は、別紙会議記録をご確認ください。

作成：東松島市復興まちづくり計画市民委員会事務局